

まだまだ減らせます もやさなければならないごみ

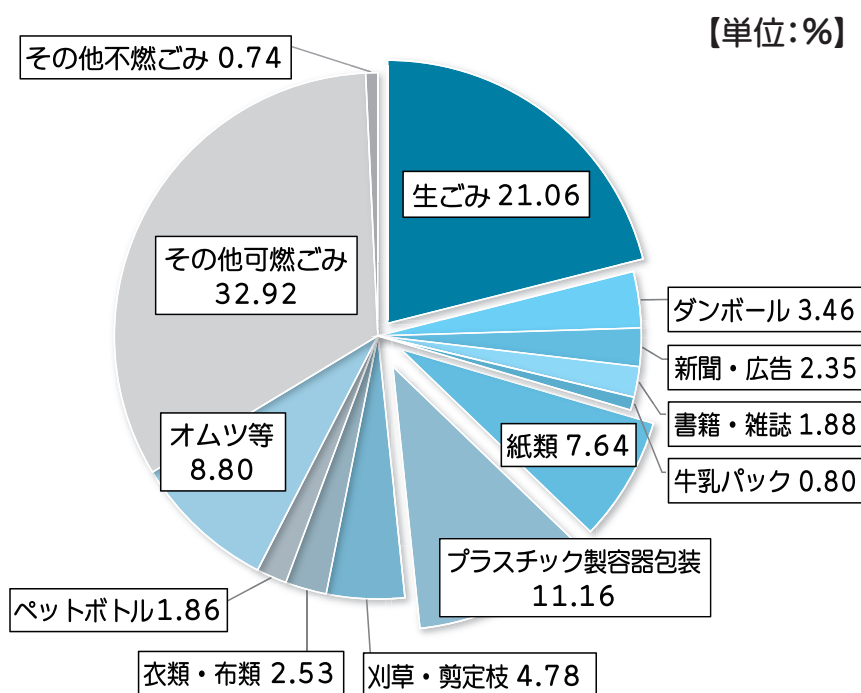
町では、新しい焼却施設の知多南部広域環境センター（4年4月完成）の焼却能力にあわせ、平成26年に比べて可燃ごみを年間1,000トン削減するという目標を持っていますが、目標にはまだ500トンほど届いていません。

もやさなければならないごみの中身を調べ、可燃ごみの現状を確認する、ごみ組成調査を実施しましたので結果をお知らせします。

たけとよ
エコだより

▶ 問合せ 役場環境課

● ごみ組成調査(夏季・冬季)の結果 ●



生ごみ、紙類、プラスチック製容器包装の減量に力を入れることで、多くのもやさなければならないごみを減らすことができます。



3っ のお願い

1 生ごみの水キリ

生ごみには、70～80%の水分が含まれていますので、捨てる前のひと絞りでごみを軽くすることができます。



水キリの道具で簡単に絞ることができます。詳しくは、役場環境課へ。

2 紙類の分別

きれいな紙は、リサイクルできます。紙類の指定袋に入れて出してください。



クリップやビニールがついていても、そのままリサイクルできます。

3 プラスチック製容器包装の分別

商品を包むプラスチック製の袋や入れ物はリサイクルできます。プラスチック製容器包装の指定袋に入れてください。



汚れている場合は、使ったティッシュ等で拭く、水洗いする等してください。